

広報チームが行く！



漆沢ダムについて知ろう！ & 鳴瀬川ダム予定地の巻



Vol.14 (2021/08/31)



国土交通省 東北地方整備局
鳴瀬川総合開発工事事務所

広報チームは、鳴瀬川総合開発事業及び関連する地域の情報を様々なメディアを活用し「親しみやすく」「わかりやすく」広報することを目的に令和2年6月に鳴瀬川総合開発工事事務所の職員で結成したチームです。

漆沢ダムについて

宮城県が昭和56年に建設した多目的ダムです。
鳴瀬川総合開発事業では、この漆沢ダムにトンネル洪水吐*を設置して洪水調節専用ダムに改造します。これは国内初の取り組みとなります。
洪水調節専用化後は、普段は陸地になり、洪水時だけ貯水池ができる珍しいダムとなります。

多目的ダムって??



洪水時の水量調節や上水道用水、工業用水、かんがい用水の供給など目的を2つ以上兼ね備えたダムの事を言います。

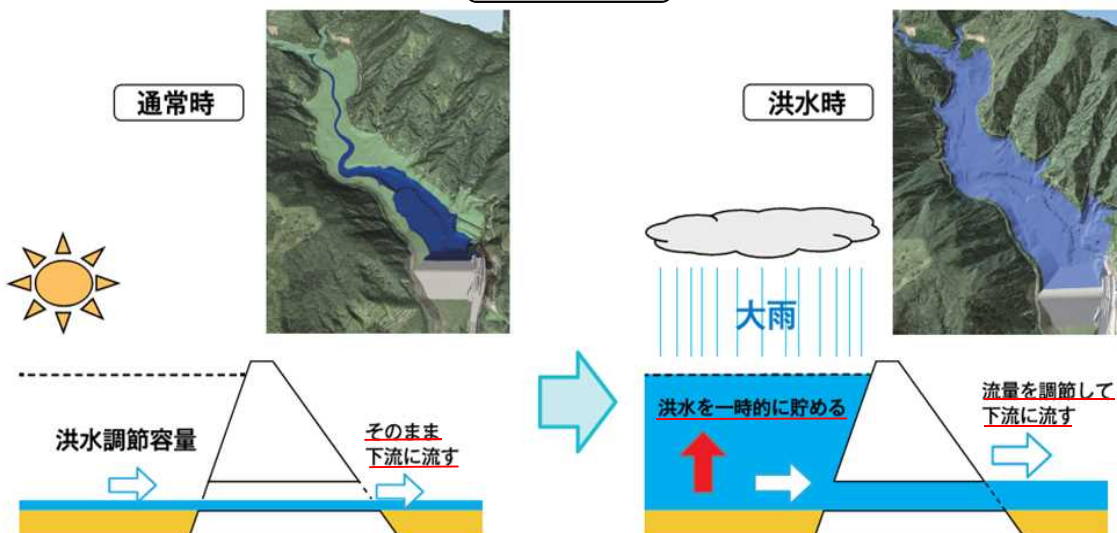
*洪水吐とは

ダムに貯めた水を下流に放流し、水量調整をするために設けられた放流設備の総称です。



～再開発によって新しくなる仕組み～

運用イメージ



洪水調節専用ダムは利水容量を持たず、貯水池を洪水調節だけに使います。



鳴瀬川ダム建設予定地



国道347号沿いに看板が設置してあります。これから出来上がるダムの大きさや、役割などが詳しく書いてあるので通行する機会があれば、是非立ち寄ってみて下さい(^-^)

看板がリニューアル

この先に宮城県で一番高いダムを建設します!

鳴瀬川ダムは、洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい、発電を目的として、宮城県加美郡加美町字滝沢地先に新たに建設する多目的ダムです。
ダム型式は、台形CSGダムです。台形CSGダムとは、ダムの型式の一つで、砂礫に水とセメントを配合して生成されたCSGを台形状に盛り立てたコンクリートダム的一种です。
また、鳴瀬川ダムの名称は、これまで、宮城県事業時代の鳴砂子ダムを継承してきましたが、名称変更に対する地元要望および黒瀬川流域全体の治水・利水に資する事業であること等を踏まえ、ダム名称を鳴瀬川ダムに変更しました。

完成イメージ

鳴瀬川ダム 概要	ダム型式	台形CSGダム
	ダム高	107.5m
	堤長	30m
	貯水容量	43,500万m ³

現在地からダムサイトを望む

鳴瀬川ダムの堤高は107.5mで(完成すると)宮城県第1位、東北第7位。また、台形CSGダムでは全国第2位。

鳴瀬川ダムの役割

- 洪水調節**
鳴瀬川ダムの建設される地点における計画洪水流量毎秒660立方メートルのうち、毎秒630立方メートルの洪水調節を行い、洪水被害を軽減します。
- 流水の正常な機能の維持**
鳴瀬川及び田川の既設用水の補給等、流水の正常な機能の維持と増進を図ります。
- かんがい**
二つ石ダムと合わせて、鳴瀬川及び田川沿岸の約9,870ヘクタールの農地に足るかんがい用水の補給を行います。
- 発電**
鳴瀬川ダムの建設に伴って新設される「鳴瀬川発電所」において、最大出力2,300キロワットの発電を行います。

問い合わせ先
国土交通省 東北地方整備局
鳴瀬川総合開発工事事務所
TEL.0229-22-7811

今はボーリング調査が行われています。

ボーリング調査とは、地盤の状況や地層境界の深度などを調べる際に用いられる地盤調査方法です。さらに詳しくボーリング調査について知りたい方は「広報チームが行く! Vol.4」もご覧ください😊 <https://www.thr.mlit.go.jp/naruse/>



- ①ボーリング調査に使う機械です。地面に鉄の筒を回転させながら刺します。
- ②筒を地面に刺している最中。
- ③刺した筒を取り出す作業。
- ④筒の中から土砂や岩石を取り出す作業。
- ⑤土砂や岩石は、ビニールに包まれた状態で出てきます。
- ⑥1mごとに分割し、箱に入れて地質状況を確認します。



今回は、漆沢ダムと鳴瀬川ダムの予定地を紹介しました。広報チームは、これからもいろいろな事を発信し、事務所ホームページ、twitter等で広報していきます☆

twitter Youtube